

【中期目標期間評価】中項目ごとの検証・確認における論点整理

自己評価の区分		判断の目安
Ⅳ	中期目標を上回っている	目標の達成状況が100%超
Ⅲ	おおむね中期目標どおり達成している	目標の達成状況が90%超100%以下
Ⅱ	中期目標を下回っている	目標の達成状況が60%超90%以下
Ⅰ	中期目標を大幅に下回っている	目標の達成状況が60%以下

地方独立行政法人岐阜県立多治見病院

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点 (●))、法人の自己評価年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																													
		自己 評価	評価 提案	意見																													
04	1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の維持・向上 高度急性期・急性期病院としての役割を全うするため、外来診療規模を縮小する方向で最適化を図りつつ、多治見シャトル（病診連携システム）を効果的に活用し、診療所等訪問活動チームや医療連携交流会などで診療所等との連携を深めるとともに、近隣の医療機関との協力体制の充実により紹介・逆紹介を促進する。 また、東濃・可児地域病病連携推進会議などの活動を通じて近隣病院との対話や協議を行い、東濃医療圏における地域医療構想（医療機能分化・連携）の具現化に努める。 2 地域連携クリニカルパス 連携パスコーディネーターによる地域連携クリニカルパスの運用促進に努める。	＊ 近隣の医療機関等との役割分担及び連携に関する事項 ☆ 業務実績等 ・地域医療連携センターによる開業医への訪問活動を実施し、近隣医療機関との役割分担、連携強化を図ったほか、紹介患者獲得や高度医療機器の利用に向けPR 活動を実施した。 ・多治見シャトル（病診連携システム）やたじみのネット（地域医療連携ネットワークシステム）の効果的な活用等により、患者紹介率、逆紹介率は高い水準を維持することができた。 ・東濃可児地域病病連携会議を開催し、地域の医療機関との間で急性期医療や回復期医療の提供体制について意見交換を行うなど病病連携の推進を図った。 ・地域連携クリニカルパス（大腿骨頸部骨折、脳卒中、5大がん、狭心症、心筋梗塞、糖尿病）の運用促進のため、医療連携推進協議会を開催し、医師会、行政機関等との連携を強化した。 ・地域住民を対象とした健康づくり講座について、新型コロナウイルス感染拡大時は開催を自粛したが、令和4年度から6年度は年間10 回以上開催した。 ・市民公開講座について、令和3年度は開催を自粛したが、令和4年度に会場とオンライン配信を同時に行うハイブリッド形式で実施した。また、令和5年度と6年度に健康フェスタを開催し、外部講師を招いての市民公開講座や、体験ブース、病院紹介ブースを設置するなど、健康増進や病院での取り組み等の情報発信を行った。 ○ 多治見シャトル利用件数 <table><tr><th>R 元年度</th><th>R2 年度</th><th>R3 年度</th><th>R4 年度</th><th>R5 年度</th><th>R6 年度</th><th>増減(R 元→R6)</th></tr><tr><td>2,840 件</td><td>2,834 件</td><td>3,273 件</td><td>3,321 件</td><td>3,202 件</td><td>3,368 件</td><td>+528 件</td></tr></table> ○ 紹介患者のうち医療連携予約の割合 <table><tr><th>R 元年度</th><th>R2 年度</th><th>R3 年度</th><th>R4 年度</th><th>R5 年度</th><th>R6 年度</th><th>増減(R 元→R6)</th></tr><tr><td>78.4 %</td><td>82.0 %</td><td>80.7 %</td><td>79.0%</td><td>79.8%</td><td>84.5%</td><td>+6.1pt</td></tr></table>	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減(R 元→R6)	2,840 件	2,834 件	3,273 件	3,321 件	3,202 件	3,368 件	+528 件	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減(R 元→R6)	78.4 %	82.0 %	80.7 %	79.0%	79.8%	84.5%	+6.1pt	Ⅳ		県立多治見病院が地域の住民の方から高く評価され、頼りにされているのはデータからも評判からもわかります。また診療所との、多治見シャトル等で連携もうまくいっていると思います。下り搬送は最近増加したものの、数年来、近隣の病院との連携を、役割分担を明確化して行っているようには見えません。また、地域連携パスの実績も、手術数等に比較すると高いとは言えません。東濃の中核病院であるがゆえに、診療所、近隣病院等とも、連携を深めていただけるとよいと思います。
R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減(R 元→R6)																											
2,840 件	2,834 件	3,273 件	3,321 件	3,202 件	3,368 件	+528 件																											
R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減(R 元→R6)																											
78.4 %	82.0 %	80.7 %	79.0%	79.8%	84.5%	+6.1pt																											

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点 (●))、法人の自己評価年度計画に係る業務実績、法人の自己評価						評価委員会の検証																																																											
		自己 評価	評価 提案	意見																																																															
	3 疾病予防の推進 地域住民を対象とした健康づくり講座や一般市民向けの公開講座を継続的に実施し、医療と健康に対する知識や関心を高める。	○ 紹介率・逆紹介率																																																																	
		<table><tr><td>区分\年度</td><td>R 元年度</td><td>R2 年度</td><td>R3 年度</td><td>R4 年度</td><td>R5 年度</td><td>R6 年度</td><td>増減(R 元→R6)</td></tr><tr><td>紹介率</td><td>73.4%</td><td>74.3%</td><td>72.8%</td><td>73.3%</td><td>74.8%</td><td>73.3%</td><td>▲0.1pt</td></tr><tr><td>紹介実件数</td><td>20,677 件</td><td>17,048 件</td><td>18,345 件</td><td>19,250 件</td><td>19,776 件</td><td>19,637 件</td><td>▲1040 件</td></tr><tr><td>逆紹介率</td><td>101.2%</td><td>98.6%</td><td>97.4%</td><td>100.5%</td><td>98.2%</td><td>95.3%</td><td>▲5.9pt</td></tr><tr><td>逆紹介実件数</td><td>19,996 件</td><td>16,590 件</td><td>17,638 件</td><td>18,149 件</td><td>17,967 件</td><td>18,127 件</td><td>▲1,869 件</td></tr></table>										区分\年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減(R 元→R6)	紹介率	73.4%	74.3%	72.8%	73.3%	74.8%	73.3%	▲0.1pt	紹介実件数	20,677 件	17,048 件	18,345 件	19,250 件	19,776 件	19,637 件	▲1040 件	逆紹介率	101.2%	98.6%	97.4%	100.5%	98.2%	95.3%	▲5.9pt	逆紹介実件数	19,996 件	16,590 件	17,638 件	18,149 件	17,967 件	18,127 件	▲1,869 件																
		区分\年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度				増減(R 元→R6)																																																							
		紹介率	73.4%	74.3%	72.8%	73.3%	74.8%	73.3%				▲0.1pt																																																							
		紹介実件数	20,677 件	17,048 件	18,345 件	19,250 件	19,776 件	19,637 件				▲1040 件																																																							
		逆紹介率	101.2%	98.6%	97.4%	100.5%	98.2%	95.3%				▲5.9pt																																																							
		逆紹介実件数	19,996 件	16,590 件	17,638 件	18,149 件	17,967 件	18,127 件				▲1,869 件																																																							
		○ 高度医療機器利用状況																																																																	
		<table><tr><td>機器名\年度</td><td>R 元年度</td><td>R2 年度</td><td>R3 年度</td><td>R4 年度</td><td>R5 年度</td><td>R6 年度</td><td>増減(R 元→R6)</td></tr><tr><td>CT</td><td>1,031 件</td><td>856 件</td><td>907 件</td><td>867 件</td><td>1,028 件</td><td>1,010 件</td><td>▲21 件</td></tr><tr><td>MRI</td><td>607 件</td><td>601 件</td><td>608 件</td><td>620 件</td><td>588 件</td><td>705 件</td><td>+98 件</td></tr><tr><td>RI</td><td>158 件</td><td>194 件</td><td>197 件</td><td>197 件</td><td>214 件</td><td>233 件</td><td>+75 件</td></tr><tr><td>PET</td><td>50 件</td><td>61 件</td><td>47 件</td><td>74 件</td><td>37 件</td><td>50 件</td><td>0 件</td></tr><tr><td>骨密度</td><td>85 件</td><td>79 件</td><td>99 件</td><td>99 件</td><td>97 件</td><td>103 件</td><td>+18 件</td></tr><tr><td>合計</td><td>1,931 件</td><td>1,791 件</td><td>1,858 件</td><td>1,857 件</td><td>1,964 件</td><td>2,101 件</td><td>+170 件</td></tr></table>										機器名\年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減(R 元→R6)	CT	1,031 件	856 件	907 件	867 件	1,028 件	1,010 件	▲21 件	MRI	607 件	601 件	608 件	620 件	588 件	705 件	+98 件	RI	158 件	194 件	197 件	197 件	214 件	233 件	+75 件	PET	50 件	61 件	47 件	74 件	37 件	50 件	0 件	骨密度	85 件	79 件	99 件	99 件	97 件	103 件	+18 件	合計	1,931 件	1,791 件	1,858 件	1,857 件	1,964 件	2,101 件	+170 件
		機器名\年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度				増減(R 元→R6)																																																							
		CT	1,031 件	856 件	907 件	867 件	1,028 件	1,010 件				▲21 件																																																							
		MRI	607 件	601 件	608 件	620 件	588 件	705 件				+98 件																																																							
		RI	158 件	194 件	197 件	197 件	214 件	233 件				+75 件																																																							
		PET	50 件	61 件	47 件	74 件	37 件	50 件				0 件																																																							
		骨密度	85 件	79 件	99 件	99 件	97 件	103 件				+18 件																																																							
		合計	1,931 件	1,791 件	1,858 件	1,857 件	1,964 件	2,101 件				+170 件																																																							
		○ 開放病床の利用実績																																																																	
		<table><tr><td>区分\年度</td><td>R 元年度</td><td>R2 年度</td><td>R3 年度</td><td>R4 年度</td><td>R5 年度</td><td>R6 年度</td><td>増減(R 元→R6)</td></tr><tr><td>医科</td><td>11 件</td><td>1 件</td><td>11 件</td><td>9 件</td><td>21 件</td><td>18 件</td><td>+7 件</td></tr><tr><td>歯科</td><td>29 件</td><td>20 件</td><td>35 件</td><td>44 件</td><td>36 件</td><td>39 件</td><td>+10 件</td></tr></table>										区分\年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減(R 元→R6)	医科	11 件	1 件	11 件	9 件	21 件	18 件	+7 件	歯科	29 件	20 件	35 件	44 件	36 件	39 件	+10 件																																
		区分\年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度				増減(R 元→R6)																																																							
		医科	11 件	1 件	11 件	9 件	21 件	18 件				+7 件																																																							
		歯科	29 件	20 件	35 件	44 件	36 件	39 件				+10 件																																																							
		○ 地域連携パスの運用状況																																																																	
		<table><tr><td>パス名\年度</td><td>R 元年度</td><td>R2 年度</td><td>R3 年度</td><td>R4 年度</td><td>R5 年度</td><td>R6 年度</td><td>増減(R 元→R6)</td></tr><tr><td>大腿骨頸部骨折</td><td>129 件</td><td>93 件</td><td>87 件</td><td>115 件</td><td>109 件</td><td>79 件</td><td>▲50 件</td></tr><tr><td>脳卒中</td><td>238 件</td><td>251 件</td><td>220 件</td><td>206 件</td><td>188 件</td><td>118 件</td><td>▲120 件</td></tr><tr><td>5 大がん</td><td>6 件</td><td>19 件</td><td>13 件</td><td>15 件</td><td>25 件</td><td>30 件</td><td>+24 件</td></tr><tr><td>狭心症・心筋梗塞</td><td>15 件</td><td>11 件</td><td>2 件</td><td>1 件</td><td>0 件</td><td>0 件</td><td>▲15 件</td></tr><tr><td>糖尿病</td><td>0 件</td><td>0 件</td><td>0 件</td><td>0 件</td><td>0 件</td><td>0 件</td><td>0 件</td></tr><tr><td>合 計</td><td>388 件</td><td>374 件</td><td>322 件</td><td>337 件</td><td>322 件</td><td>227 件</td><td>▲161 件</td></tr></table>										パス名\年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減(R 元→R6)	大腿骨頸部骨折	129 件	93 件	87 件	115 件	109 件	79 件	▲50 件	脳卒中	238 件	251 件	220 件	206 件	188 件	118 件	▲120 件	5 大がん	6 件	19 件	13 件	15 件	25 件	30 件	+24 件	狭心症・心筋梗塞	15 件	11 件	2 件	1 件	0 件	0 件	▲15 件	糖尿病	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	合 計	388 件	374 件	322 件	337 件	322 件	227 件	▲161 件
		パス名\年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度				増減(R 元→R6)																																																							
		大腿骨頸部骨折	129 件	93 件	87 件	115 件	109 件	79 件				▲50 件																																																							
脳卒中	238 件	251 件	220 件	206 件	188 件	118 件	▲120 件																																																												
5 大がん	6 件	19 件	13 件	15 件	25 件	30 件	+24 件																																																												
狭心症・心筋梗塞	15 件	11 件	2 件	1 件	0 件	0 件	▲15 件																																																												
糖尿病	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件																																																												
合 計	388 件	374 件	322 件	337 件	322 件	227 件	▲161 件																																																												
○ 共同指導・連携指導の実績																																																																			
<table><tr><td>項目\年度</td><td>R 元年度</td><td>R2 年度</td><td>R3 年度</td><td>R4 年度</td><td>R5 年度</td><td>R6 年度</td><td>増減(R 元→R6)</td></tr><tr><td>退院時共同指導実績</td><td>204 件</td><td>222 件</td><td>202 件</td><td>94 件</td><td>194 件</td><td>237 件</td><td>+33 件</td></tr><tr><td>介護支援連携指導</td><td>372 件</td><td>229 件</td><td>174 件</td><td>171 件</td><td>180 件</td><td>205 件</td><td>▲167 件</td></tr></table>							項目\年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減(R 元→R6)	退院時共同指導実績	204 件	222 件	202 件	94 件	194 件	237 件	+33 件	介護支援連携指導	372 件	229 件	174 件	171 件	180 件	205 件	▲167 件																																					
項目\年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減(R 元→R6)																																																												
退院時共同指導実績	204 件	222 件	202 件	94 件	194 件	237 件	+33 件																																																												
介護支援連携指導	372 件	229 件	174 件	171 件	180 件	205 件	▲167 件																																																												

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点 (●))、法人の自己評価年度計画に係る業務実績、法人の自己評価						評価委員会の検証																																																																				
		自己 評価	評価 提案	意見																																																																								
		○ 訪問活動件数・健康づくり講座の実施回数 <table><tr><th>区分\年度</th><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th><th>増減(R元→R6)</th></tr><tr><td>訪問活動</td><td>34件</td><td>48件</td><td>15件</td><td>10件</td><td>18件</td><td>12件</td><td>▲22件</td></tr><tr><td>健康づくり講座</td><td>17回</td><td>3回</td><td>0回</td><td>10回</td><td>16回</td><td>20回</td><td>+3回</td></tr></table> * 医療から介護・福祉へのサービス提供の促進に関する事項 ☆ 業務実績等 ・DPC 入院期間Ⅱ超え患者全員について、担当者から治療や今後の方針等を確認し、情報共有や対応困難事例について検討を行うなど退院支援を継続して行った。 ・入院時、退院時にケアマネージャー等を交えたカンファレンスを実施し、患者に関する情報を共有することで患者が円滑に退院できるよう取り組んだ。 ・医療ソーシャルワーカーが参加する東濃情報交換会の開催や、転院先、施設訪問を行い、関係機関との連携を強化した。また、東濃5市を対象に行政訪問を実施し、今後の課題等について検討した。 ○ 在宅復帰率 <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th><th>増減(R元→R6)</th></tr><tr><td>91.0%</td><td>91.6%</td><td>92.2%</td><td>90.7%</td><td>91.2%</td><td>91.5%</td><td>▲0.5 pt</td></tr></table> ○ 相談対応件数 <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th><th>増減(R元→R6)</th></tr><tr><td>20,450件</td><td>21,347件</td><td>26,454件</td><td>27,571件</td><td>29,732件</td><td>28,874件</td><td>8,424件</td></tr></table> ○ 合同カンファレンスの実施件数 <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th><th>増減(R元→R6)</th></tr><tr><td>465件</td><td>450件</td><td>377件</td><td>371件</td><td>405件</td><td>444件</td><td>▲21件</td></tr></table>						区分\年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	増減(R元→R6)	訪問活動	34件	48件	15件	10件	18件	12件	▲22件	健康づくり講座	17回	3回	0回	10回	16回	20回	+3回	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	増減(R元→R6)	91.0%	91.6%	92.2%	90.7%	91.2%	91.5%	▲0.5 pt	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	増減(R元→R6)	20,450件	21,347件	26,454件	27,571件	29,732件	28,874件	8,424件	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	増減(R元→R6)	465件	450件	377件	371件	405件	444件	▲21件			
区分\年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	増減(R元→R6)																																																																					
訪問活動	34件	48件	15件	10件	18件	12件	▲22件																																																																					
健康づくり講座	17回	3回	0回	10回	16回	20回	+3回																																																																					
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	増減(R元→R6)																																																																						
91.0%	91.6%	92.2%	90.7%	91.2%	91.5%	▲0.5 pt																																																																						
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	増減(R元→R6)																																																																						
20,450件	21,347件	26,454件	27,571件	29,732件	28,874件	8,424件																																																																						
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	増減(R元→R6)																																																																						
465件	450件	377件	371件	405件	444件	▲21件																																																																						
09	1 医学生、看護学生及びコメディカルを目指す学生の実習受入れ 医学生、看護学生及びコメディカルを目指す学生に対して、講義や実習の積極的な受入れ等地域医療に貢献する。	※ 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施に関する事項 ☆ 業務実績等 ・コロナ禍においても教育機関からの実習受入れを継続した。医学生については、名古屋大学、名古屋市立大学、岐阜大学等関連大学から、感染対策を講じながら積極的に受入実習を行った。また、看護学生やコメディカルも同様に大学や専門学校からの実習を積極的に受け入れた。 ・救急救命士に対しては、生涯教育実習、就業前実習、気管挿入実習、薬剤投与実習のほか、救急搬入後の事後検証会を定期的に実施し、医療技術の向上を図った。						Ⅲ	各学生の受入れを増加させ、人材確保に向けた戦略的な取組と考えます。																																																																			

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点 (●))、法人の自己評価年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	評価委員会の検証																																																														
			自己 評価	評価 提案	意見																																																												
	2 救急救命士の病院実習等地域医療従事者への研修の実施及び充実 救急救命士に対しては、定期的な講習及び病院実習を実施し医療技術の向上を図る。 3 岐阜県立多治見看護専門学校での看護師養成に対する支援 東濃圏域での看護師養成を担う岐阜県立多治見看護専門学校に対して、病院の医師・看護師等を専任教員又は非常勤講師として派遣する。	・岐阜県立多治見看護専門学校に対して、当院の医師・看護師等を専任教員又は非常勤講師として派遣し、看護師養成を支援した。 ○ 学生の実習受入状況 <table><tr><th>区分\年度</th><th>R 元年度</th><th>R2 年度</th><th>R3 年度</th><th>R4 年度</th><th>R5 年度</th><th>R6 年度</th><th>増減(R 元→R6)</th></tr><tr><td>医学生</td><td>52 人</td><td>18 人</td><td>41 人</td><td>46 人</td><td>57 人</td><td>42 人</td><td>▲10 人</td></tr><tr><td>看護学生</td><td>481 人</td><td>426 人</td><td>424 人</td><td>253 人</td><td>663 人</td><td>671 人</td><td>+190 人</td></tr><tr><td>コメディカル</td><td>63 人</td><td>67 人</td><td>73 人</td><td>94 人</td><td>51 人</td><td>41 人</td><td>▲22 人</td></tr></table> ○ 医学生の見学受入状況 <table><tr><th>R 元年度</th><th>R2 年度</th><th>R3 年度</th><th>R4 年度</th><th>R5 年度</th><th>R6 年度</th><th>増減(R 元→R6)</th></tr><tr><td>64 人</td><td>30 人</td><td>65 人</td><td>70 人</td><td>109 人</td><td>124 人</td><td>+60 人</td></tr></table> ○ 救急救命士の研修実績状況 <table><tr><th>R 元年度</th><th>R2 年度</th><th>R3 年度</th><th>R4 年度</th><th>R5 年度</th><th>R6 年度</th><th>増減(R 元→R6)</th></tr><tr><td>98 人</td><td>96 人</td><td>104 人</td><td>95 人</td><td>98 人</td><td>101 人</td><td>+3 人</td></tr></table>	区分\年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減(R 元→R6)	医学生	52 人	18 人	41 人	46 人	57 人	42 人	▲10 人	看護学生	481 人	426 人	424 人	253 人	663 人	671 人	+190 人	コメディカル	63 人	67 人	73 人	94 人	51 人	41 人	▲22 人	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減(R 元→R6)	64 人	30 人	65 人	70 人	109 人	124 人	+60 人	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減(R 元→R6)	98 人	96 人	104 人	95 人	98 人	101 人	+3 人			
区分\年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減(R 元→R6)																																																										
医学生	52 人	18 人	41 人	46 人	57 人	42 人	▲10 人																																																										
看護学生	481 人	426 人	424 人	253 人	663 人	671 人	+190 人																																																										
コメディカル	63 人	67 人	73 人	94 人	51 人	41 人	▲22 人																																																										
R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減(R 元→R6)																																																											
64 人	30 人	65 人	70 人	109 人	124 人	+60 人																																																											
R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減(R 元→R6)																																																											
98 人	96 人	104 人	95 人	98 人	101 人	+3 人																																																											
10	1 地域医療水準の向上 地域の医療機関と連携を強化し、高度先進医療機器の共同利用や開放型病床の利用の促進などにより、地域医療水準向上を図る。 2 医師不足地域や医師不足診療科、へき地診療所等への人的支援を含む診療支援による地域医療の確保 東濃地域等の医師不足地域の医療機関や、へき地医療機関への診療支援を継続して実施する。	※ 地域医療への支援に関する事項 ☆ 業務実績等 ・令和4年10月23日に、第37回岐阜県病院協会医学会を当院長を学会長として多治見市のセラミックパーク MINO で開催し、特別講演、共催セミナー、演題発表が行われ、医療の発展と向上に寄与した。 ・医療連携推進協議会を定期的に開催し、地域の医療機関との連携強化に努めた。また、地域医療連携センターによる開業医への訪問活動等を通じて、高度医療機器の共同利用の促進や、紹介患者獲得へ向けPR活動を実施した。 令和6年10月6日に行われた岐阜県病院協会医学会で11名が発表し、うち1名が優秀演題賞に選出された。 * 人的支援に関する事項 ☆ 業務実績等 ・国民健康保険上矢作病院へ医師1名を週1回（当直業務）派遣した。 ・土岐市立総合病院へ定期的に医師を派遣した。（当直業務、循環器内科、消化器内科） ○ 他の医療機関への人的支援状況 <table><tr><th>派遣機関\年度</th><th>R2 年度</th><th>R3 年度</th><th>R4 年度</th><th>R5 年度</th><th>R6 年度</th></tr><tr><td>国民健康保険上矢作病院</td><td>週1回（当直業務）1人（6</td><td>週1回（当直業務）1人（11</td><td>週1回（当直</td><td>週1回（当直</td><td>週1回（当直</td></tr></table>	派遣機関\年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	国民健康保険上矢作病院	週1回（当直業務）1人（6	週1回（当直業務）1人（11	週1回（当直	週1回（当直	週1回（当直	IV		定期的な支援を地域の2病院に行っている。																																																
派遣機関\年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度																																																												
国民健康保険上矢作病院	週1回（当直業務）1人（6	週1回（当直業務）1人（11	週1回（当直	週1回（当直	週1回（当直																																																												

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点(●))、法人の自己評価年度計画に係る業務実績、法人の自己評価							評価委員会の検証		
									自己 評価	評価 提案	意見
				人で交代)	人で交代)	業務) 1人(5 人で交代)	業務) 1人(5 人で交代)	業務) 1人(5 人で交代)			
		土岐市立総合病院	・循環器内科 毎週 木曜日 (2 人で交代) ・消化器内科 10月～3月 毎週火曜日と 木曜日(2人 で隔週交代) ・毎週金曜日 (当直業務) 5月～3月 (7 人で交代)	・毎週金曜日 (当直業務) (4 人で交代)	・毎週金曜日 (当直業務) (4 人で交代) ・消化器内科 毎週火曜日と 木曜日(4人 で交代) ・循環器内科 毎週 木曜日 (2 人で交代)	・毎週金曜日 (当直業務) (4 人で交代) ・消化器内科 毎週火曜日と 木曜日(4人 で交代) ・循環器内科 毎週 木曜日 (2 人で交代)	・毎週金曜日 (当直業務) (4 人で交代) ・消化器内科 毎週火曜日と 木曜日(4人 で交代) ・循環器内科 毎週 木曜日 (2 人で交代)	・毎週金曜日 (当直業務) (4 人で交代) ・消化器内科 毎週火曜日と 木曜日(4人 で交代) ・循環器内科 毎週 木曜日 (2 人で交代) ※5月31 日まで			
18	1 人員配置の検証及び弾力的運用 医療需要の変化や患者動向に迅速に対応した診療科の変更、医師・看護師等の人員配置の弾力的運用を行う。 2 効果的な体制による医療の提供 常勤以外の雇用形態も含めた多様な専門職の活用等、効果的な体制による医療の提供に努める。特に、医師事務作業補助者(医療クラーク)、病棟・外来看護事務補助者(病棟看護クラーク)及び看護補助者の拡充を図る。	* 診療体制及び人員配置の弾力的運用に関する事項 ☆ 業務実績等 ・令和4年10月に救急集中治療科を新設し、救命医を1名増員した。 ・看護師の配置について、人員の不足している手術部、救命救急センターを中心に採用を行い補充した。 ・医師等の負担軽減のため、医師事務作業補助者、看護助手、介護福祉士、救急救命士の人員を確保した。 ・新中央診療棟への診療体制の円滑な移行を図るため、再雇用の副看護部長を新棟建設室に兼務配置した。 ・医師事務作業補助者について、人員配置の見直しを行い各診療科のフォロー体制の充実を図った。							Ⅲ		救急体制の確保は評価できる。
27	1 育児・介護との両立支援や離職防止・復職支援体制の充実 医療従事者の業務負担を軽減する	* 職員の就労環境の向上に関する事項 ☆ 業務実績等 ・職員募集や再雇用制度の活用により職員数を確保し、就労環境の向上に努めた。							Ⅳ		有給取得率の上昇は評価できるが、医療クラークの減少はマイナス要因。

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点 (●))、法人の自己評価年度計画に係る業務実績、法人の自己評価						評価委員会の検証																																																										
		自己 評価	評価 提案	意見																																																														
	ため、次の取組みを推進する。 - 柔軟な職員採用、再雇用制度の充実 - 柔軟な勤務時間体制、適切な労働時間、必要な人数の確保 - 医師事務作業補助者（医療クラーク）、病棟・外来看護事務補助者（病棟看護クラーク）、及び看護補助者の増員、並びにコメディカルの病棟配置の拡充 2働き方改革の実現に向けた取組 医師等職員の業務負担軽減や労働時間短縮のためのタスク・シフティングの推進等国の指針に基づいた取組を実施する。また、ワーク・ライフバランス休暇等の有給休暇取得を促進し、職員の身体面だけでなくメンタル面も含めた、心身の健康管理対策の充実に努める。 3 職員のモチベーション向上に資する取組 人事評価制度による公正で客観的な評価を実施することで職員のモチベーション向上を図る。職員の福利厚生充実に向け、継続的に職員ニーズの把握等に努める。また、院内保育施設においては、利用職員のための病児保育や夜間保育等を引き続き実施する。	- 育児部分休業や育児短時間勤務の活用等、仕事と家庭を両立させるための柔軟な勤務時間体制を推進した結果、利用者数が増加し、一定の効果を得た。 - 働き方改革・職員相談支援室において、職場環境や人間関係等の悩みを相談できる体制を確保しており、看護部についてはナースサポートセンターとして専任の看護師が対応を行った。また、院内広報誌「土岐川のしらべ」を隔週で発行し、相談機能の充実に努めた。 - 院長、副院長を構成員とする働き方改革会議を開催し、各部門ごとの時間外勤務の状況や各医師の毎月の時間外勤務の状況を把握した。また、月の長時間労働該当医師の診療科部長に対し、文書にて注意喚起を行った。 - 年休取得5日未満の職員への取得促進に係る注意喚起を各所属に行った。 - 医師の時間外勤務上限開始を見据え、医師を対象とした勤怠管理システムを導入し、勤怠管理の合理化に努めた。 - 医師クラークについて、各診療科のフォロー体制の充実に向け人員配置を見直し、グループ制を導入した。 - 前期定期健康診断とあわせて「ストレスチェック」を全職員を対象に実施した。 - 定期健康診断や人間ドックの確実な受診を促し、要精密検査等の指示があった職員へのフォローを実施した。 - 目標管理と連動し、公正で客観的な人事評価制度の円滑な運用に努めた。 - 新型コロナウイルス感染症対策業務手当や作業手当、後方施設勤務手当を新設するなど、職員のモチベーション維持に努めた。 - 国の補助金制度を活用して看護職員処遇改善手当を新設し、看護職員のモチベーション維持に努めた。 - 職員食堂について、特別メニューやイベントメニューを企画するなどメニューの充実に努めた。また、職員満足度アンケートを行い、職員のニーズの把握に努めた。 ○ 有給休暇取得率 <table><tr><th>区分\年度</th><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th><th>増減(R元→R6)</th></tr><tr><td>年次休暇</td><td>44.4%</td><td>43.9%</td><td>40.1%</td><td>44.1%</td><td>48.9%</td><td>52.2%</td><td>+7.8pt</td></tr></table> ○ 育児部分休業及び育児短時間勤務利用者数（各年度末時点） <table><tr><th>区分\年度</th><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th><th>増減(R元→R6)</th></tr><tr><td>利用者数</td><td>39人</td><td>40人</td><td>55人</td><td>61人</td><td>69人</td><td>62人</td><td>+23人</td></tr></table> ○ 医師・看護師事務作業補助者数 <table><tr><th>区分\年度</th><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th><th>増減(R元→R6)</th></tr><tr><td>医師事務作業補助者（医療クラーク）</td><td>42人</td><td>37人</td><td>36人</td><td>36人</td><td>32人</td><td>29人</td><td>▲13人</td></tr><tr><td>病棟事務補助者（看護クラーク）</td><td>19人</td><td>18人</td><td>18人</td><td>13人</td><td>18人</td><td>18人</td><td>▲1人</td></tr></table>						区分\年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	増減(R元→R6)	年次休暇	44.4%	43.9%	40.1%	44.1%	48.9%	52.2%	+7.8pt	区分\年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	増減(R元→R6)	利用者数	39人	40人	55人	61人	69人	62人	+23人	区分\年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	増減(R元→R6)	医師事務作業補助者（医療クラーク）	42人	37人	36人	36人	32人	29人	▲13人	病棟事務補助者（看護クラーク）	19人	18人	18人	13人	18人	18人	▲1人			
区分\年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	増減(R元→R6)																																																											
年次休暇	44.4%	43.9%	40.1%	44.1%	48.9%	52.2%	+7.8pt																																																											
区分\年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	増減(R元→R6)																																																											
利用者数	39人	40人	55人	61人	69人	62人	+23人																																																											
区分\年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	増減(R元→R6)																																																											
医師事務作業補助者（医療クラーク）	42人	37人	36人	36人	32人	29人	▲13人																																																											
病棟事務補助者（看護クラーク）	19人	18人	18人	13人	18人	18人	▲1人																																																											

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点 (●))、法人の自己評価年度計画に係る業務実績、法人の自己評価					自己 評価	評価委員会の検証																													
								評価 提案	意見																												
		○ メンタルヘルスケア相談件数 <table><tr><td>R 元年度</td><td>R2 年度</td><td>R3 年度</td><td>R4 年度</td><td>R5 年度</td><td>R6 年度</td><td>増減(R 元→R6)</td></tr><tr><td>7 人</td><td>8 人</td><td>9 人</td><td>5 人</td><td>5 人</td><td>5 人</td><td>▲2 人</td></tr></table> ○ メンタルヘルス講習会参加者数 <table><tr><td>R 元年度</td><td>R2 年度</td><td>R3 年度</td><td>R4 年度</td><td>R5 年度</td><td>R6 年度</td><td>増減(R 元→R6)</td></tr><tr><td>110 人</td><td>開催自粛</td><td>開催自粛</td><td>開催自粛</td><td>48 人</td><td>55 人</td><td>▲55 人</td></tr></table> ※令和2年度から4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を見送った。また、令和5年度から当日参加できない職員にも配慮し、WEB で後日視聴が可能となるようにした。					R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減(R 元→R6)	7 人	8 人	9 人	5 人	5 人	5 人	▲2 人	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減(R 元→R6)	110 人	開催自粛	開催自粛	開催自粛	48 人	55 人	▲55 人			
R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減(R 元→R6)																															
7 人	8 人	9 人	5 人	5 人	5 人	▲2 人																															
R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減(R 元→R6)																															
110 人	開催自粛	開催自粛	開催自粛	48 人	55 人	▲55 人																															
28	1 県との連携・強化 岐阜県との緊密な連携と情報の共有に努める。 また、東濃圏域での看護師養成を担う岐阜県立多治見看護専門学校に対して病院の医師・看護師等を専任教員又は非常勤講師として派遣するなど、同校との連携強化を推進する。 2 他の地方独立行政法人との連携・強化 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の人事交流等、岐阜県が設立した他の地方独立行政法人との連携を推進する。	* 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項 ☆ 業務実績等 ・岐阜県立多治見看護専門学校に対して、当院の医師・看護師等を専任教員又は非常勤講師として派遣し、看護師養成を支援した。 ・新中央診療棟の整備について、県の関係課から法規制や工事発注等について指導助言を受けるとともに、進捗状況を適宜報告するなど、緊密に連携した。					III	県からアドバイスを受けるのは当然であるが、県立多治見病院に求められているのは、他の地方独立行政法人との連携（援助）であると思います。数年来、十分行われていないように思います。																													